

平成29年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価に関する報告書
(対象年度：平成28年度)

高萩市教育委員会

目 次

I	はじめに	
1	趣旨	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	外部評価委員	1
II	点検及び評価結果	
1	教育委員会の活動	2
2	教育委員会が管理・執行する事業	4
(1)	学校教育	4
(2)	生涯学習	14
(3)	市民文化	20
(4)	人権	26
III	外部評価委員会委員の意見	28
IV	参考資料	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	29

1 はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成20年4月1日施行）の施行により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表しなければならないとされました。

このため、高萩市教育委員会では、法律が改正された趣旨に則り、より効果的な教育行政の推進を図るため、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書（平成28年度実績）」としてまとめ、議会に報告するとともに公表することとします。

2 点検及び評価の対象

本市の市政運営の基本である第5次高萩市総合計画「まちの安全・ひとの安心・しごとの活力 快適生活都市 高萩」及び教育委員会の運営の基本である「高萩の教育」における重点戦略を構成する施策のうち、平成28年度に教育委員会が実施した主な事務事業を点検及び評価の対象としました。

3 点検及び評価の方法

教育委員会が実施した事務事業を「1 教育委員会の活動」と「2 教育委員会が管理・執行する事業」に大別し、項目ごとに自己点検評価を行いました。

また、点検と評価の客観性を確保するために、事務局内部で実施した点検と評価報告について、教育に関し深い知識を有する者（外部評価委員）の意見を求めました。

4 外部評価委員

（敬称略）

氏 名	所 属
蛭 田 隆 久	元高萩中学校長
黒 澤 み の り	市社会教育委員
岡 田 勝	市体育協会会長

II 点検及び評価結果

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の構成

	氏 名	任 期
教育長	小 沼 公 道	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	関 矢 光 良	平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日
教育委員	鈴 木 智 恵 子	平成 25 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日
教育委員	鈴 木 幸 男	平成 26 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日
教育委員	作 山 吉 永	平成 24 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日
教育委員	増 子 恵 美	平成 28 年 10 月 1 日～平成 32 年 9 月 30 日

(2) 平成 28 年度教育委員会月別開催状況

教育委員会では、付議された案件についての審議や報告等を行う定例会を毎月 1 回開催する他に、必要に応じて臨時会を開催しました。また、教育委員の意見交換や研修活動等の場として協議会を開催しました。

教育委員会では、20 件の議案と 4 件の報告について審議しました。人事案件や教育委員会規則の制定又は一部改正等について慎重かつ迅速な審議が適正に行われました。これらにおいては、本市の教育行政について様々な視点から建設的に議論されてきました。

教育委員会では、第 5 次高萩市総合計画で示された主要施策である「たくましさを育む教育・文化」の実現に向けて、様々な事業の展開に努めてきました。

(単位 回)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
臨時会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2

(3) 学校訪問

教育委員会と学校現場が互いに共通認識を持ち、より良い学校教育を推進することを目的として、学校園訪問を実施しています。教職員が実際に指導している様子や子どもたちの様子を把握するとともに、学校及び園での取り組みや課題について意見交換を行っています。

月 日	場 所
6 月 13 日	松岡小学校、東小学校、第一幼稚園
6 月 29 日	高萩小学校、松岡中学校、秋山幼稚園、松岡幼稚園
7 月 8 日	秋山小学校、秋山中学校、高萩中学校

9月12日	東幼稚園
11月29日	松岡小学校、東小学校、高萩小学校、秋山小学校
12月12日	秋山中学校、松岡中学校、高萩中学校
1月12日	君田小学校、君田中学校

(4) 教育委員研修

国・県・他自治体の取組等に触れる機会を設け、委員としての見識を深めるため、研修に参加してきました。

月 日	場 所	内 容
4月19日	日立市教育会館	県北教育委員会連絡協議会総会 ・ 県北教育管内の教育行政について ・ 各市教育委員会の現状と課題
5月27日	東京都オリンピックホール八王子	関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会・研修会 ・ 記念講演「スポーツの価値を高めるために～新しいスポーツ行政のかたち～」 講師 鈴木 大地
5月30日	常総市地域交流センター	茨城県市町村教育委員会連合会総会 ・ 講演会「災害の経験を教育にどう生かすか？－地域と大学の協働を軸に－」 講師 伊藤 哲司
10月18日	ホテルレイクビュー水戸	茨城県市町村教育委員会教育委員研修 【講演】 「なぜ、我々は、教育に命を懸けるのか」 講師 田坂 広志 【事例発表】 ① 幼保小連携推進事業について ② 神栖市学力向上プロジェクトについて 【行政説明】 いばらき教育プランの概要

2 教育委員会が管理・執行する事業

(1) 学校教育

少子化時代に対応した効率的で質の良い学校教育を通して、いきいきとした萩っ子を育みます。

基本事業名	① 教育環境の整備			
めざす姿	○教育施設・設備等の充実 ○少子化時代に対応した学校の適正配置			
担当課	教育総務課			
取組内容と成果	○教育環境の改善を図るため、松岡小学校普通教室間仕切り設置、高萩小学校トイレ改修、松岡中学校屋上防水改修、及び高萩小学校・高萩中学校・秋山中学校・松岡幼稚園の空調設備整備、高萩中学校トイレ改修に向けて実施設計を行った。 ○課題となっていた幼稚園の耐震化に伴い、第一幼稚園・秋山幼稚園・東幼稚園の耐震診断調査を実施し、耐震化率が低い東幼稚園を、東小学校の空き教室へ移動した。 ○児童・生徒数の急激な減少に伴い、君田小・中学校をそれぞれ松岡小・中学校へ統合するため、平成29年3月31日で閉校した。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○児童・生徒数の減少と学校施設の老朽化を鑑み、適正な学校規模とより良い教育環境の提供を引き続き検討する必要がある。 ○幼稚園の耐震化に早急に取り組む必要がある。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
適正な規模の小学校の割合	60.0%	60.0%	75.0%	スムーズな学校運営ができる体制
適正な規模の中学校の割合	25.0%	25.0%	66.6%	

<p>外部評価 委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少ない予算の中で、できる限りの努力をしている様子うかがえる。和式から洋式へのトイレ改修や空調設備等については、別途予算を付けるなど早め実施していく必要があると思う。 ・幼稚園の耐震化については、保育所との関連もあるが、早め実施してほしい。 ・教育環境改善のための普通教室間仕切り設置は、児童・生徒の集中力を向上させるためにも高く評価したい。今後の学力向上に期待したい。 ・耐震に関する施設環境は、安全性に関して最重要課題なので今後も継続してもらいたい。 ・年々、児童・生徒減少が進んでいるが、学校環境には今後ともより良い環境整備を希望する。 ・君田小・中学校の統廃合となった施設の今後の再利用を検討してほしい。
-----------------------	---

基本事業名	② 確かな学力の定着			
めざす姿	○基礎・基本学力が確実に定着される。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○みんなにすすめたい一冊の本事業による読書活動を推進した。</p> <p>小学校の国語の授業で行っている並行読書の成果もあり、読書量は概ね達成している。</p> <p>小学校4～6年：年間50冊以上605人（89.8%） ※平成27年度 634人（89.2%）</p> <p>中学校1～3年：年間30冊以上189人（24.8%） ※平成27年度 221人（27.4%）</p> <p>（県の目標は小学校77%、中学校23%）</p> <p>○漢字カテストや算数・数学カテスト等で努力すれば結果が出る経験を積み、達成感、自己有用感を高めることで学力下位層の引き上げ指導を行った。</p> <p>○訪問指導を通し、学び合いによる問題解決的な学習を推進させ、主体的で対話的な学びを引き出すよう指導助言した。その結果、画一的な一斉指導は減ってきている。</p> <p>○思考の可視化に努めさせ、ノート指導を充実させた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○みんなにすすめたい一冊の本事業による読書活動を通し、ビブリオバトル（書評合戦）の推進による深い読書を目指したい。</p> <p>○授業が主体的・対話的で深い学びとなるよう、訪問指導や研修会を通して指導・改善する。</p> <p>○市ノート展を開催し、学習ノートのグッドモデルを提示することにより、整理されたノート、思考が可視化されたノートなどを考える機会とする。また、教員には、授業の意図が見えるノートを意識させ、児童生徒へのノート指導の参考となるようにする。</p> <p>○中学校資格検定補助事業により、学校全体で検定に対する意欲を高めるとともに家庭学習の充実を図る。</p> <p>○高萩市小中学校ノート展の実施により、他校の良い取り組みに刺激を受けた児童・生徒、教員も多かった。このノート展を継続し、校内ノート展の開催を全小中学校に広げたい。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
学力診断テスト市平均点と県平均点との差	-1.37点	-1.94点	-1.49点	+0.5点
家庭学習を1時間以上行っている児童生徒の割合	68.4%	64.9%	70.0%	80.0%
読書が好きな児童生徒の割合	50.75%	50.8%	54.1%	65.0%
幼稚園へのALT(外国語指導助手)等派遣回数	3回	3回	3回	6回

<p>外部評価 委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなに進めたい一冊の本事業の読書量が県平均を小・中学校ともに超え、児童・生徒の読書が好きだと答える割合が増えていることは好ましい傾向。今後も引き続き力を入れて指導してほしい。 ・問題解決的な学習が中学校でも取り入れられるようになってきたことは、とても素晴らしいこと。今後も引き続き力を入れて指導して欲しい。 ・学力診断テストの市の平均が、年度による多少の変化はあるものの、県平均と比較して少しずつ向上していることは大変好ましい。 ・学力診断テストの国語の教科が県平均を上回っていることから、国語の授業での並行読書の成果が上がっているように見受けられ、高く評価したい。また、他の教科も工夫された授業の指導、支援が感じられ、今後の更なる向上に期待したい。 ・みんなに進めたい一冊の本事業に対して、市内図書館及び学校図書室の蔵書を増やし今後とも読書量を増やしてほしい。中学校資格検定補助事業は今後とも継続をお願いしたい。
-----------------------	---

基本事業名	③ 豊かな心の育成			
めざす姿	○豊かな心が育まれ、より良い人間関係を構築する。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」を市内全体で取り組むよう指導した。(身だしなみ・掃除・挨拶・時間)</p> <p>○Q Uテストを実施し学級内の人間関係の把握に努めた。より良い学級づくりといじめ防止につなげた。</p> <p>小学校のいじめ認知件数は30件、中学校の認知件数も22件であった。悪口やからかい、仲間はずれ、LINEによる悪口、中傷などで、いずれも解消となり、経過観察・指導継続となっている。</p> <p>○道徳の授業の確実な実施を図り、若手教員による道徳授業公開を行った。また、秋山中学校の国立教育政策研究所教育課程研究センター指定事業による道徳の授業研究の成果を市内で共有することにより、読み物資料のあらすじを追う展開からの脱却と「考え議論する」道徳の実践に努めた。</p> <p>○協働する経験や豊かな体験活動を幼児教育から充実させた。園児の遊びを学びにかえる教員からの「問い」の質の向上に努めた。</p> <p>○地域のボランティア活動や行事への参加、特別支援学校との交流、高齢者との触れ合いなど、心の触れ合いの場を積極的に設定して思いやりや助け合いの心を育成した。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○生徒指導スローガン「み・そ・あ・じ」の取組状況について、学校間に差がある。校長会や生徒指導主事研修会で確認するとともに学校訪問により状況を確認して指導する。</p> <p>○個人向けの分析結果の出るハイパーQ Uテストを実施し、一人一人にとって居心地のよい学級づくりに一層努める。また、ハイパーQ Uテスト活用の研修会を開催する。</p> <p>○指導力のある若手教員による道徳授業公開を継続し、道徳教科化に向けて研修を充実させる。</p> <p>○学級担任の学級経営力の差が大きい。ライオンズクエスト・ライフスキルやソーシャルスキルトレーニングの研修などを活用して指導力向上に努める必要がある。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	71.8%	69.4%	73.2%	79.9%
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合	74.8%	75.7%	72.4%	85.4%

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感の割合が向上していることは大変好ましいことであり、今後も継続することを期待する。 ・ハイパーQ Uテストを実施するなどして人間関係把握に努めることは大変よいことだと思う。具体的な活用の仕方は学級担任の力量に負うところが多いと思われるので、教員一人一人の学級経営の力を高める工夫を今後も継続して欲しい。 ・心のふれあいの場を設定し「思いやり・助け合い」の心を育成したことに関して、いつの時代にも共通する「情」に重点を置いた指導に意気込みを感じた。更なる取組みを期待したい。 ・中堅教師が少ないことから、若い教師の学級担任や経営力に差が生じないよう若い教師への研修は、将来ある児童・生徒を指導するにあたり大いに役立っているとして高く評価したい。 ・問題解決的な学習推進、主体的で対話的な学びを引き出す指導の助言により、画一的な一斉指導の減少に繋がったことは素晴らしい。現代は、個々の存在を認め自分の意見を明確に相手に示す事が重要視されているので高く評価したい。 ・生徒指導スローガン「み、そ、あ、じ、」については今後の活動に期待する。いじめゼロを目指してほしい。 ・外部団体によるライオンズクエスト・ライフやソーシャルスキルトレーニングの研修を大いに活用し若い先生方のスキルアップをお願いしたい。
---------------	--

基本事業名	④ 健やかな体力の向上			
めざす姿	○健やかな体を持ち、理想や自己の目標に向かって努力する強い意志を持つ。 ○安全でおいしい給食が提供されている。			
担当課	教育総務課・学校教育課			
取組内容と成果	○スポーツテストの結果を分析し、落ち込みの見られる項目を授業前のサーキットトレーニングに組み込んだり、授業内容で強化したりするなどの手立てを講じた。 幼稚園教育の中で、小中学校で課題の見られる投力や瞬発力を向上させる遊びを意図的に取り入れた。 ○各中学校では、運動部活動の充実が図られ、生徒の自主性・主体性を高める運営に努めた。 ○心臓及び尿検査については、個人の病歴によるものが大きいと考えられるが、生活習慣改善の教育等を通して、要精密者の減少につなげた。 ○児童・生徒に必要な栄養を確保するために適量を提供しているが、近年の児童生徒の偏食が著しいことにより残食が多い。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○児童・生徒の体力向上については、課題の見られる運動能力の向上に努める。また、体育集会やスポーツチャレンジを通して運動への興味関心を高める。 ○中学校の運動部の活躍に対し、県大会以上の大会に出場する際に交付する「ジュニア萩っこ各種大会応援補助金」により、今後も、市全体で萩っこを支援していく。 ○学校給食における残食率改善については、今後、栄養教諭を活用した「食育」を更に推進し、各小・中学校と連携し残食を減らす努力をする。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
児童生徒体力テスト (A、B評価の割合)	63.7%	59.0%	64.6%	65.0%
学校給食の残食率	21.0%	21.38%	19.78%	19.0%

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストのA・B評価の割合が目標値に近づき高い数値を維持していることは、教員の方々の努力のたまものだと思う。体力があつての知力なので今後も引き続き努力をお願いしたい。 ・学校給食の残食率が年々改善している様子がかがえ、栄養教諭や給食主任をはじめとした給食指導の効果が出ていると思う。 ・スポーツテストの結果を分析し課題達成のための手立てを講じた結果、約7%の上昇がみられたことは高く評価したい。また、幼稚園教育で「遊び」を通した課題への取組が素晴らしいと感じた。 ・体力・運動機能向上の面からも、児童生徒の栄養確保は必須であるが、残食約20%は重要課題と感じた。完食に向けて、義務ではなく自発的に行動する、楽しい食育の推進に期待したい。 ・中学校の部活に於いて外部指導者の導入等の制度があれば良いのではないかと思う。 ・高萩市の学校給食はおいしいとのこと。今後とも残食を減らす努力を引き続きお願いしたい。
---------------	---

基本事業名	⑤ 開かれた学校運営			
めざす姿	○地域の子どもたちの成長・発達を保育所、幼稚園、小学校、中学校と家庭、地域がお互いに連携して取り組む。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	○校種間連携事業「ユニット5」(10年以上続けている事業)により小学校区ごとにユニット事業を推進し、幼保小中が連携した学校行事や授業の交流を行った。 ○はぎッズサポーターの活用を通し、地域とともにある学校づくりを進めた。子どもたちは多様なサポートにより学習を充実させることができた。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○校種間連携事業「ユニット4」(君田地区のユニットが松岡に統合)の会議を充実させ、ねらいを明確にした交流ができるようにする。 ○各学校に地域連携コーディネーターを配置し、学校・家庭・地域社会が相互に連携・協力した教育を推進するとともに、コミュニティースクールの導入準備や学校関係者評価の充実を図る。 ○地域連携コーディネーターを中心に、はぎッズサポーター等の地域の人材の活用を充実させ、本物を見せる授業、地域と協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進する。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
学校・家庭・地域が連携して教育がなされていると思う市民割合	29.4%	-%	-%	46.3%
豊かな心を育み、萩っ子が生き生きと育つ学校教育が推進できていないと思う市民の割合	13.0%	-%	-%	7.7%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価 委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット5からユニット4へ幼保小中の連携が継続して推進されていることは、小さな市であるからこそ大切にされるべきだと思うが、着実にその成果をあげている様子は素晴らしい。 ・はぎッズサポーターを様々な学校行事の中で活用し、その成果が上がっていることがうかがえる。これからも継続してほしい。 ・茨城県内初となる地域連携コーディネーターが、学校・家庭・地域連携にどのような要となるのか期待したい。 ・学校側から意図的に家庭や地域社会に働きかけ、かかわりを持つことの手立てを考慮すべきだろうと感じる。 ・今後とも地域連携コーディネーターと、はぎッズサポーターの連携強化をお願いしたい。
-----------------------	--

(2) 生涯学習

自分に合った手段や方法で生涯学習に取り組、それを活かして生活し、生きがいや充実感を得る。

基本事業名	① 生涯学習機会の充実			
めざす姿	○国際化や情報化社会など直面している課題への取組や一人ひとりの状況に応じたきめ細かな学習機会が提供され、人と人との連携や世代間交流が拡大する。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○生涯学習情報誌「学びいきいき高萩 2016」を作成（550部）し、関係機関へ配付した。</p> <p>○高齢者の経験や技能を活かし、小学校のクラブ活動や総合的な学習の時間の中で、延べ383人のはぎッズサポーターが活動し、児童との体験・交流活動をとおり、生きがいづくりを行った。</p> <p>○児童・生徒及び親子三世代で参加できる「カレンダーを作ろう」、「ひな人形を作ろう」を実施し、子どもから高齢者まで交流する機会をつくった。</p> <p>○子どもの講座や短期講座など市民のニーズに合った講座を新たに開設した。</p> <p>○青少年相談委員協議会や子ども会育成連合会と連携した、体験活動を実施した。</p> <p>「萩っ子歴史探検隊」については、充実したプログラムが実施できた。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○情報誌を広く周知し、活用してもらう必要がある。</p> <p>○はぎッズサポーターの登録・活用の拡充</p> <p>○参加者が三世代で参加できるよう事業を展開する必要がある。</p> <p>○今後も市民のニーズに合った講座を開設して行く。</p> <p>○時代のニーズに合った事業プログラムに見直し、現代の子ども達に魅力ある事業にする必要がある。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
生涯学習機会が充足していると思う市民割合	16.1%	－%	－%	25.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課で取り組んでいる事業は数多くあり工夫して取り組んでいるところだが、なかなか一般市民にはその活動の様子が伝わりにくいところがあるようだ。広報活動の充実をよろしく願いしたい。 ・三世代交流にとどまらず、引きこもり老人ゼロの目標と同時に高い生涯現役高齢者率の数値が出るような講座も検討してもらいたい。 ・高萩市の歴史に触れる事業などあれば良いかと思う。はぎっズサポーターとの交流、親子三世代の交流、そして子供会との連携事業等の交流事業の支援を引き続きよろしく願いしたい。
---------------	--

基本事業名	② 生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興			
めざす姿	○創意工夫を活かした特色ある講座やスポーツ、レクリエーションなど様々な事業が展開され、子どもから高齢者まで多くの市民が年齢や体力に応じ気軽に親しんでいる。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○「ふれあいスポーツフェスティバル」を開催し、約300人の参加者へニュースポーツ、レクリエーションの体験・指導を実施することができた。</p> <p>○市内小中学校の体育館やプール等の体育施設を学校教育に支障のない範囲内で市民へ開放を行った。 学校体育館の開放については、空きがなく、利用団体間で調整を行い、利用できた。</p> <p>○市長杯争奪軟式野球大会、歩く会、たかはぎ駅伝等を実施し、多くの市民が参加した。</p> <p>○国民体育大会本県開催に向け、地元から優れた人材を発掘するため、茨城県ウエイトリフティング協会副会長 福田太公氏を講師として小・中学生を対象としたウエイトリフティング教室を実施した。 年々ウエイトリフティング教室の参加者が増加し、インターハイや中学生の全国大会に出場している。</p>			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○参加者が横ばい状態であるため、魅力あるニュースポーツ、レクリエーション等を検討して行く必要があるため、見直す。</p> <p>○学校プール開放については、天候等の問題もあるが、開放日程を見直す。</p> <p>○公道で実施している歩く会及びたかはぎ駅伝については、参加者の安全確保のため、より安全なコースへの変更を検討する。</p> <p>○ウエイトリフティング競技力の向上を図る。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
各種スポーツイベント等への参加者数	3,454人	-人	-人	3,500人
週1回以上スポーツを行っている市民割合	26.3%	-%	-%	30.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題に「参加者が横ばい状態であるため魅力あるニュースポーツ、レクリエーション等を検討していく必要があるため見直す。」とあるが、人口が減り年齢構成も高くなった市の状況を考えると、一定の成果はあがっているように思う。年代別の工夫の必要性を感じる。 ・ウエイトリフティング部門で、インターハイや中学生の全国大会出場者輩出は、優れた人材発掘の成果が上がっているように見える。高く評価し、さらなる向上に期待したい。 ・茨城国体に向けて高萩会場となるウエイトリフティングのPR不足が気になる。認知度を上げる活動をぜひお願いしたい。 ・歩く会、市内駅伝大会の安全なコース設定には、早急をお願いしたい。
------------------	--

基本事業名	③ 社会教育施設の整備と活用			
めざす姿	○市民のニーズに合った適正配置が進み、管理体制が整い市民に愛される施設として有効活用される。広い市域に分散している社会教育施設の老朽化に伴い、統廃合や整備、適正な規模の確保並びに配置に努め、有効活用される。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	○各施設の老朽化による扉開閉不具合、エアコン故障等の修繕を実施した。 ○消防法の改正に伴い、中央公民館の非常用放送設備設置工事を実施した。 ○市民球場の改修・耐震化工事を実施した。			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○全施設において、老朽化が進んでおり、計画的な改修及び修繕が必要である。 ○高浜スポーツ広場と市民体育館の非常用放送設備設置工事を実施する予定である。 ○平成28年度に市民球場の改修工事が完了し、天然芝生の管理が必要である。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
社会教育施設の平均稼働率	87.0%	87.7%	86.5%	90.0%

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none">・社会教育施設の稼働率が8割後半を維持しているのは素晴らしいことだと思う。それだけに、各施設の老朽化による改修・修繕が急務かと思う。・老朽化した施設の整備は、引き続き早急に対処してほしい。
---------------	---

(3) 市民文化

伝統文化、芸術文化、国際交流など多様な文化に触れる機会が増え、心豊かに暮らす。

基本事業名	① 芸術文化の振興			
めざす姿	○市民や文化協会等の自主的な芸術文化活動への支援が充実していることから、市民のニーズの変化に合った魅力あるイベントが開催され、質の高い芸術・文化に触れる機会が充足している。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	○文化祭や子ども文化教室一日体験講座を実施し、多くの市民が参加した。 ○日展鑑賞会実行委員会により日展鑑賞会が実施された。			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○市民のニーズに合ったイベントの企画が必要である。 ○文化祭の参加者について、高齢の方が多く若年層にも参加していただけるよう、広報が必要である。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
文化祭等事業への参加者数	6,238人	－人	－人	6,650人
芸術・文化活動の機会の充足度	59.5%	－%	－%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none">・市民のニーズに合ったイベントの企画が必要であるとの課題があげられているが、市内各高等学校に依頼して生徒の代表を集め話し合っ てアイデアを出してもらうような企画もあってよいのではないか。・日展鑑賞会の実施は、芸術に触れる機会が少ない地域において心豊かになれる良い機会である。芸術に触れあう機 会の少ない市民に対する担当者の意気込みを感じた。・課題にある文化祭へ若い世代の参加のPRを引き続き要望する。
---------------	--

基本事業名	② 文化財の保護・活用			
めざす姿	○郷土の貴重な文化財を保存・伝承するとともに展示や広く周知することにより、市民の文化財に対する関心が高まり、親しむ機会が増える。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○市内文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・穂積家住宅の適正管理 ・文化財の利活用として古民家レストラン、手作り雛人形まつりを実施した。 <p>穂積家住宅の来場者数：22,909人 うち、レストラン期間入場者 12,043人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9/17～12/4に古民家レストラン ・2/18～3/3に雛人形展示 			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○穂積家住宅の茅葺屋根が葺き替え後15年経過しているため、葺き替えの計画を進める必要がある。</p> <p>○衣装蔵の老朽化により亀裂や歪みが目立つ為、外部漆喰の修繕を行う必要がある。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
市内の文化財に親しんでいる市民の割合※	62.3%	—%	—%	65.0%

※第5次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

外部評価 委員の評価	<ul style="list-style-type: none">・市内文化財の利用として、穂積家住宅の古民家レストランは、秋のレストランオープン時期には紅葉を楽しむ多くの人々が訪れ、市民だけではなく県内多くの人々に定着しているように思う。・穂積家の古民家レストランの通年営業ができれば良いと思う。
---------------	---

基本事業名	③ 市民による国際交流推進			
めざす姿	○市内外の外国人や外国文化と交流を行う人が増加する。			
担当課	生涯学習課			
取組内容と成果	<p>○高萩市国際交流協会事業により外国人との交流を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流の集い 都内大学留学生 30 名のホームステイ ・カメハメハ学園交流事業 カメハメハ学園生徒 7 名のホームステイ ・文化交流会 市内在住外国人による、海外の文化・食などについて講演 ・世界のグルメ講座 市内在住外国人による、海外の料理講座 			
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 順調	<input type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	○市内在住の外国人と高萩市国際交流協会の連携を図り、イベント等を企画する必要がある。			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
過去 2 年以内に市内外の外国人や外国文化と交流している又は交流したことがある市民割合	10.0%	—	—	10.0%

※ 第 5 次高萩市総合計画策定に伴う高萩市まちづくり市民アンケート結果による指標

<p>外部評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人との国際交流は高萩市国際交流協会との連携事業として、長きにわたり継続して市民に理解され、その効果もあがってきている。より積極的な広報活動により、さらに国際交流の大切さの意識付けが図られ推進されると思われる。 ・「市民による」とあるが、現実には書類作成から報告書作成の大部分を事務局である市役所職員に委ねられている。多額の補助金を支出しているにもかかわらず、協会の事業を市職員が代行しているのはいかがなものか。 ・カメハメハ学園交流事業において、参加生徒人数は今年の13名から7名の約半分に減少し、今年は引率者を含めても12名である。この結果は、市民の需要が半減している証だと推測される。高額な補助金を充てている事業であるため費用対効果を考慮し、別事業への転換の検討を期待する。
------------------	--

(4) 人権

市民一人ひとりの人権が尊重されるまちが構築される。

基本事業名	① 学校における人権教育の推進			
めざす姿	○学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。			
担当課	学校教育課			
取組内容と成果	<p>○各学校において人権教育推進全体計画を作成し、人権尊重の視点に立った学校づくりを行った。</p> <p>○人間関係のトラブルに関する生活指導や生徒指導の場面で、相手の立場や気持ちを考えさせる指導を行っている。また、学期に1回以上の生活アンケートの実施により、いじめやトラブルの早期発見に努めた。</p> <p>○児童生徒による「人権メッセージ」作成、人権啓発ビデオ・「みんなえがお」（人権教育指導資料）を用いた教員研修、情報モラル研修などにより、人権感覚を高めるように努めた。</p>			
評価	<input type="checkbox"/> 順調	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ順調	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 不調
今後の取組と課題	<p>○悪口やからかいなど、いじめに当たる行為はなくなっていない。引き続き、教育活動全体を通して人権意識を高めるとともに、道徳の授業において人権尊重の意識を高め、様々な体験活動を通して実践力を高める指導を充実させる。</p> <p>○17項目の人権課題に対して、知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に表れるような人権感覚の涵養に努める。</p>			

主要事業指標 (総合計画の成果指標)	基準値 (H26)	H27	H28	目標値 (H32)
学校教育や生涯学習などの場において人権教育が実施され、差別や偏見がなく、人権の尊重についての理解が深化している。	76.8%	78.6%	83.9%	87.5%

<p>外部評価 委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における人権教育の必要性と重要性については、より一層教職員全員の人権意識を高めることが大切であると思う。市の人権擁護委員を活用して研修会を行うこともひとつの案として考えられる。 ・人々が生きていくうえで基本となるべく最も重要な「思いやり」に結びつく人権教育で、「相手の立場や気持ちを考えさせる」指導の結果、単なる理解ではなく深い理解力を8割以上得られたことは高く評価したい。 ・年3回以上の生活アンケートで、小学校5校、中学校4校の合計約700名の内、小学校30件、中学校22件が「いじめ」と認識された。昨年度より2件の多い数字ではあるが、以前に比べ「いじめ」の基本的捉え方が、身近に感じやすくなったことの表れだと感じた。指導により個々が内に秘めるのではなく、発信できるような環境になったことは素晴らしい。その中で、経過観察は小学校1件、中学校2件に留まっている。1年以内に収束できる事は、大事になる前に情報を得られ対処したと考えられる。教員指導の賜物であると高く評価したい。
-----------------------	---

Ⅲ 外部評価委員会委員の意見

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」のまとめ大変ご苦勞様でした。これだけ多くの取り組み内容について成果、課題、指標をまとめ評価をしている姿に頭の下がる思いです。

○「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書」にある取り組みを高く評価し、さらなる向上に期待します。

○総合的には、高く評価いたします。

IV 参考資料

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。